

長崎大学

医学部医学科



入学案内
2022



Nagasaki University School of Medicine

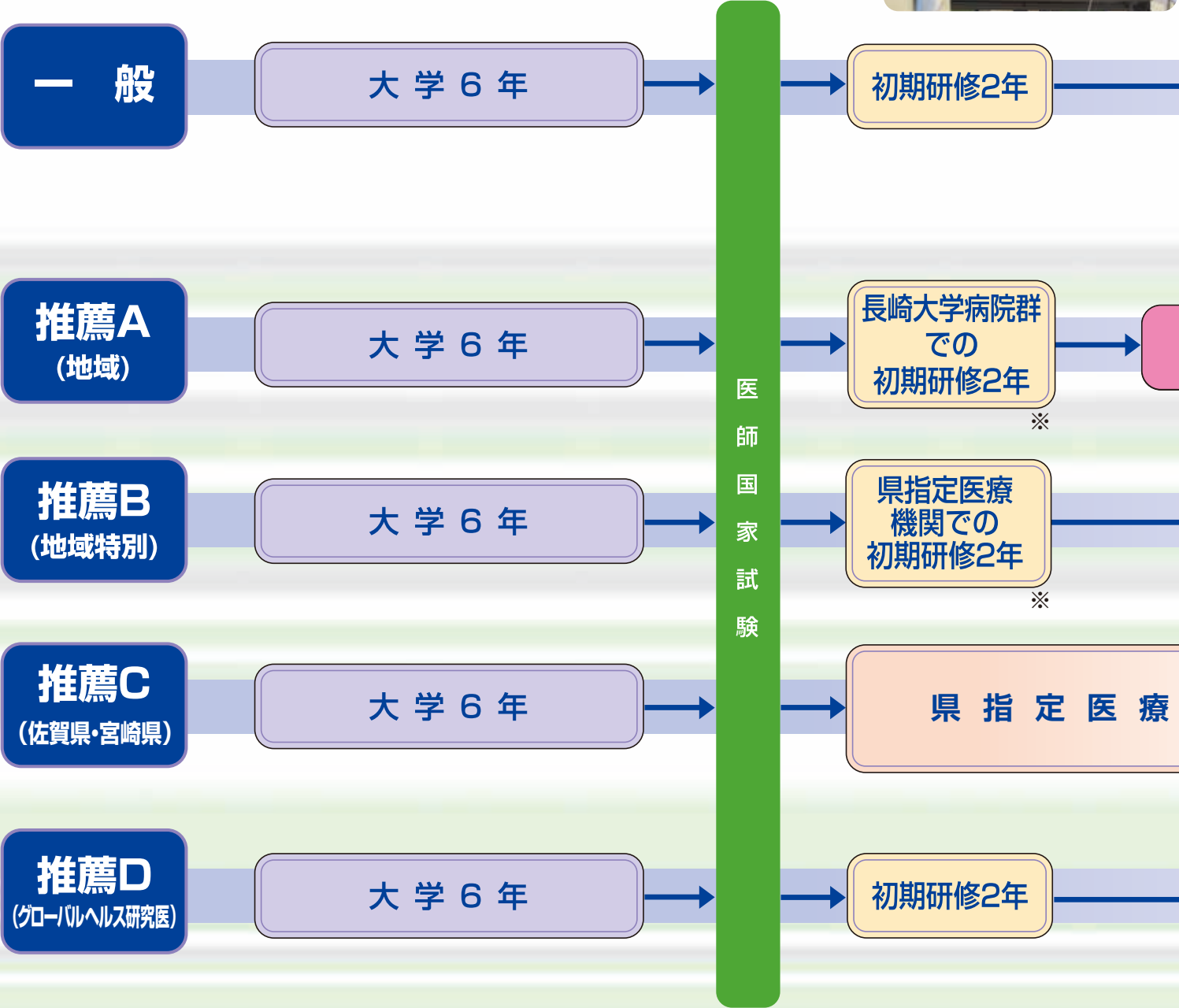


ポンペの言葉

医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。
ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分
自身のものではなく、病める人のものである。もし
それを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。



入学から卒業、大学院進学まで



すべての入試枠で医師国家試験の受験ができます。

大学6年間カリキュラム

教養教育科目

専門教育科目

・ 医と社会

・ 診療の基本

・ 正常構造と機能

・ 臨床実習

・ 疾患総論

・ 基礎研究実習

・ 疾患各論

・ 医学総合セミナー

・ 医学・医療と社会

・ 医学英語



医師国家試験年別合格率

	長崎大学新卒者合格率 (%)	全国平均合格率 (%)
平成28年(110回)	95.1	94.3
平成29年(111回)	94.3	91.8
平成30年(112回)	90.5	93.3
平成31年(113回)	88.1	92.4
令和 2 年(114回)	96.2	94.9
令和 3 年(115回)	94.8	94.4

卒業後の進路

卒業生の多くは臨床医になります。義務である2年間の初期研修、次いで専門研修を経て一人前の医師になるトレーニングを積みます。その他、基礎研究医（大学や研究所）、行政職に進む人もいます。長崎大学医学部医学科から政治家も輩出しています。

入学料・授業料・奨学金制度

■入学料……………282,000円

■授業料(年額)……………535,800円

※1 入学料については、免除(全額又は半額)及び徴収猶予の制度があります。

※2 授業料については、免除(全額又は半額)の制度があります。

※3 入学料及び授業料は改定される可能性があります。

■奨学金制度

①日本学生支援機構の奨学金

第一種奨学金(無利子)		第二種奨学金(有利子)
自宅通学	45,000円/30,000円/20,000円 いずれかを選択	20,000円～120,000円 (10,000円刻み)
自宅外通学	51,000円/40,000円/ 30,000円/20,000円 いずれかを選択	

②長崎県医学修学資金貸与制度

(1) 貸与金額 令和3年度入学者:6年間の貸与総額(予定) 9,336,800円

	入学料	授業料	図書費	生活費	年間貸与額
1年次	282,000円	535,800円	—	840,000円 (※1)	1,657,800円
2年次	—	535,800円	—	840,000円 (※1)	1,375,800円
3～6年次	—	535,800円	200,000円	840,000円 (※1)	1,575,800円

(※1) 70,000円×12月

(2) 貸与利率 年14.5%

(3) 返還免除

卒業後、「履行すべき義務」を終えた場合に元金及び利息の返還が免除されます。

(4) 履行すべき義務

貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間(うち、離島・へき地に2分の1以上の期間)、知事が指定する医療機関等への勤務が必要です。

③各種奨学金

地方自治体、民間企業及びその他団体等が設けている奨学金制度があります。

■諸納付金等(入学年度)

	種 別	金 額	備 考
1	学生教育研究災害障害保険	4,800円	6年間分
2	学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)	3,000円	//
3	学研災付帯学生生活総合保険(付帯学総)	49,020円	//
4	医学部教育後援会費	60,000円	//
5	医学部学友会費	15,000円	//
6	長崎医学同窓会入会金	25,000円	//
合 計		156,820円	

■その他の納付金等

各種予防接種費	約9,000円
医学英語 e-ラーニング受講費	76,330円
共用試験受験料	45,000円(令和3年度)
医師国家試験受験手数料	15,300円(令和2年度)
6年次国家試験対策(模試・参考書等)	約100,000円

専 門 研 修

大 学 院 4 年

大 学 院 4 年

専 門 研 修

長崎大学病院群での専門研修1年※

県指定医療機関
での専門研修(7年)※

機 関 で の 研 修 ※

大 学 院 4 年 ※

※ 研修・大学院進学の詳細は入学者選抜要項、学生募集要項等参照。



各入学枠の説明

一般枠

医学・医療分野に対して熱意と高い意志を持ち、この分野の職業に生涯にわたり従事するという明確な目的意識がある人を求めます。

地域医療に興味があり、将来長崎県の地域医療を支えていくという強い意志を持つ人を求めます。長崎県医学修学資金の貸与を受けない「推薦選抜A」と受ける「推薦選抜B」からなります。

1～3年次に長崎県の医療についての理解を深め、離島・へき地医療に重要なプライマリケア・小児科・産婦人科・救急医療などに関する広い知識を習得する「地域医療ゼミ・医学ゼミ」を受講します。

卒業後は、「推薦選抜A」では長崎大学病院群で2年間の初期研修を含む3年間研修すること、「推薦選抜B」では長崎県が指定する医療機関で9年間研修することが条件となります。

また、「推薦選抜C」では、佐賀県又は宮崎県が指定する医療機関で研修することが条件となります。

地域枠 (推薦A、B、C)

グローバル ヘルス 研究医枠 (推薦D)

グローバルヘルスあるいは基礎医学研究等に興味があり、医学の発展に携わるという目標とそれを貫く強い意志を有する人を求めます。

入学後は、以下の4つのプログラムのいずれか1つに所属し、医学研究に必要な基礎知識の習得や研究内容の発展を行い、将来の研究医に必要な基礎を築きます。

- ①熱帯医学研究医プログラム（熱帯医学の基礎研究に貢献する者）
- ②国際保健医療プログラム（国際保健医療、放射線健康科学分野に貢献する者）
- ③一般研究医プログラム（基礎医学研究に貢献する者）
- ④法医学プログラム（法医学研究に貢献する者）

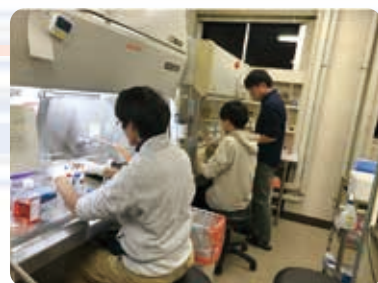
卒業後、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学することが条件となります。初期研修後の大学院進学も可能です。

医学科教育の特色

通常の基礎～臨床の講義に加えて、当医学科では以下のようなユニークな講義を行っています。

リサーチセミナー

将来臨床医となり、日々患者さんを診察し治療する中においても、科学的、論理的な考え方、批判的なものの見方を身につけることは極めて重要です。医学の歴史を振り返ると、そのような医師達が新しい疾患概念を組み立て、未知の疾患の病因を解明し、新たな治療法を開発してきました。そこで、長崎大学医学部医学科の学生は、3年次に2ヶ月間希望する研究室に配属され、毎日朝から夕方まで研究を体験するリサーチセミナーというプログラムがあります。教員からマンツーマンの指導を受け、論文を読み、情報を集め、問題に対する仮説を立て、綿密な実験計画を立てて実験を行いその仮説を検証します。希望者には海外の研究室でリサーチセミナーを行う機会も用意されています。また、プレゼンテーション能力を養うために2日間かけて研究成果発表会を行います。さらにリサーチセミナー終了後もその研究室に通い、学会で発表したり英語で論文を書く学生もいます。



国際学術交流

医学科では、グローバルなセンスを身に付けた医療人育成を目的として、海外の大学で基礎医学研究及び臨床医学研修に従事できるプログラムを提供しています。母国を離れて外国で医学を学ぶ経験は大変貴重なものであり、必ずや人間形成にも役立つものです。開学の祖、ポンペウカリのライデン大学（オランダ）やシーボルトの出身校であるビュルツブルク大学（ドイツ）、放射線の健康影響についての解明で共同研究中のベラルーシ医科大学（ベラルーシ）、多職種連携で先端的地域医療を実践しているモンタナ大学（アメリカ）、そして、シンガポール国立大学（シンガポール）、ハーリム大学校・ブサン大学校（韓国）等が現在の派遣先となっています。海外基礎研究に関しては3年次に開講されるリサーチセミナー時に、海外臨床研修は6年次前期の高次臨床実習時に希望する海外大学で実施されることになっています。また他にも多数の大学・機関と学術交流協定等を結んでおり、希望があれば適宜交流可能となっています。



地域基盤型医学教育

長崎大学は全国に先駆け地域で学ぶ医学教育に取り組んできました。今では長崎県内全域の地域中核病院を教育拠点として診療所や保健施設でも学ぶことができる地域基盤型教育を実践しています。その学びは1年から6年まで一貫しており、1年次に五島や平戸地区での早期体験実習を経験し、2年次は高齢者施設、3年次は長崎市内の診療所の見学実習、そして4・5年生では上五島、下五島、対馬、壱岐のいずれかに1週間滞在して「離島医療・保健実習」を行います。さらに、5・6年次に、県内全域にある拠点病院のなかで地域密着型の臨床実習を4週間行うこともできます。また特色として、事例学習や実習現場で保健学科や歯学部・薬学部などの医療系学科、そして福祉系大学とともに学ぶ機会をとおして多職種連携の素養を身につけ医師として地域で活躍できる力を養います。



英語教育

医師は、臨床でも研究でも、日進月歩と呼ばれ進歩が著しい世界の情報をいち早く入手し、また情報を世界に発信する能力が極めて重要になっています。一方、自動翻訳などの便利なシステムもどんどん発達していますが、それでも、人と人の接する世界である医学においては英語力は必要とされます。医学の専門用語は日本語でも難しく同様に英語でも難しい単語がたくさんあります。長崎大学医学科では医学専門用語の英単語力（語彙力）を高め、論文読解力を学生時代にある程度のレベルに到達するために医学英語e-ラーニングシステムを導入しています。自分のペースで難しい医学英語をシステムティックに学んでいくことができます。さらにネイティブスピーカーによる授業では、学んだ語彙を使って表現し議論するトレーニングを行います。将来、海外で医療に携わったり、外国人医師に先端医療技術を教えたり、欧米への本格的な留学をして研究したりと英語のできる医師には活躍の場に制限はありません。また日本を代表して国際学会などでも英語で発表し議論できる医師や研究者をめざして欲しいと考えています。



NU-CLEAR Training Program

研究に興味がある学生は、3年次から「Nagasaki University Continious Liberal-Arts, Education And Research Training Program」（NU-CLEAR Training Program）を選択し、学部在学中から大学院で履修する「共通科目」を先行して受講できます。よって、卒業後に初期研修を受けながら、社会人の大学院生として研究を続けることの一助となります。

大学院医歯薬学総合研究科

医学は近年急速に進歩しましたが、病気の原因や治療法が明らかになった疾患はまだ一部に過ぎません。人間の体の仕組みや病気については今でも未解明のことが多く、これらの問題を解決し医学の進歩を支える医学研究が欠かせません。医学部医学科卒業生の多くは、医学研究者や高度専門医療人の道を目指して、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科に進学します。本大学院は、医学、歯学、薬学、保健学の4分野を統合した4年制（医学系の場合）医療系総合大学院で、医学科卒業生は医療科学、新興感染症病態制御学系、放射線医療科学及び先進予防医学共同の専攻に進学します。大学院在学中は、柔軟なカリキュラムのもとで各人の目指す研究に没頭し、医学研究のトレーニングを積み重ね共に研究者としての第一歩を踏み出します。修了後は博士（医学）の称号を得て、一人前の研究者として世界で活躍する医療人を目指します。高度な研究能力と教育能力を備えた大学人の後継者育成も大学院の重要な使命です。本大学院は、世界で活躍する優れた医学研究者、高度専門医療人を多く輩出しています。なお、グローバルヘルス研究医枠の学生は、本大学院への進学が必須です。



原爆後障害医療研究所

長崎大学原爆後障害医療研究所（以下、原研）は、原爆被爆者の慢性障害（後障害）の治療や発症予防・放射線の人体への影響に関する医学部附属基礎研究施設として昭和37年に設置されました。以後、被爆者の治療・研究のみでなく、チェルノブイリ原発事故後や旧ソ連の核実験場であったカザフスタン共和国セミパラチンスク周辺での放射線障害の研究を各種国際機関と共に行ってきました。さらに福島原発事故後には、放射線健康リスク制御で中心的な役割を果たしています。原研は平成24年に設立50周年を迎えたのを契機に、平成25年には大学附置研究所へ改組しました。平成28年からは福島県立医科大学と「災害・被ばく医療科学共同専攻大学院」を設置し、高度な教育研究を展開しています。「国内外の大学・研究機関との連携の下、放射線健康リスク管理学を中心とした被ばく医療学を推進し、人類の安全・安心を担う専門家を輩出する」をミッションに、今後も被爆地長崎が被ばく医療の世界的拠点となるべく医療・医学研究を展開していきます。

熱帯医学研究所

人類は古くから感染症の脅威にさらされてきました。医学ならびに医療技術の発達した現代でも、エイズやマラリアなどいまだに克服されていない感染症は多く、新たなウイルスも日々出現しています。また地球温暖化や交通網の拡大・高速化などにより特定の地域で起きた感染症があつという間に世界中に広がります。長崎大学熱帯医学研究所（以下、熱研）は、熱帯地域を中心に蔓延する感染症の問題に向き合い、薬やワクチンの開発はもとより、環境や貧困問題などの原因を根本から考えて統合的な戦略を打ち出し、人々が助け合いながら感染症を克服する社会の実現を目指しています。2006年からはベトナムとケニアにて長崎大学アジア・アフリカ海外感染症研究拠点を運営し、感染症が発生流行する現場での臨床疫学研究と将来の研究を担う優秀な人材の育成に取り組んでいます。そこでは常駐の研究員と現地の研究者が協力して日夜研究を繰り返しています。熱帯医学に興味のある学生さんは気軽に熱研を訪ねてください。



先導生命科学研究支援センター

長崎大学先導生命科学研究支援センターは、動物実験、放射性同位元素を使った実験、分子生物学実験などの研究を支援しています。医学部、医歯薬学総合研究科等を含めた長崎大学の生物学実験の重要な基盤施設としての役割を担い、大学院の学生諸君や大学病院の若手医師が自由な発想で提案した研究を推進できるような環境を提供しています。他大学にまさる設備を整えiPS細胞実験、遺伝子改変マウス実験、遺伝子研究、DNA組換え体実験、タンパク質機能解析、放射性同位元素を使った画像解析などの医学生物学、医科学に必要なほとんど全ての研究が可能な施設となっています。学内の教育研究共同利用施設ということで、医学部の学生の皆さんとは直接繋がりが少ないかもしれませんが、教員は医学部教育も担当しています。医学部入学から大学病院、医歯薬学総合研究科と進んでいく皆さんの将来を支援する研究支援センターです。皆さんが長崎大学医学部学生となって当施設を利用して活躍できる日を楽しみにお待ちしております。



長崎大学病院は、あなたの夢を応援します！

あなたは、どんな医師になりたいですか！？

まずは、長崎大学医学部医学科に来てください。医学部医学科で6年間を過ごすと、同級生や先輩後輩、教員との出会いがあり、いろいろな刺激が待っていることでしょう。

卒業後は、まず、2年間の初期研修が始まります。そのなかで、一般的な疾患を幅広く学びます。多くの人は、3年目から自分の希望の専門分野に進んでいくことになります。長崎大学病院には、若い医師を育てる指導医が沢山います。そして、人材を育成する専門部署である医療教育開発センターがひとりひとりをサポートしています。長崎大学病院の初期研修、専門研修システムは非常に優れており、多くの優れた医師を輩出しています。

長崎大学病院で研修を終えた後は、様々なエキスパートの道へ進むことができます（下図）。医学研究者、大学病院や基幹病院で専門的医療を行うスペシャリスト、そして地域医療を支える開業、勤務医などです。なかには、医系技官や保健所、行政の仕事に興味が出たりするかもしれません。

このように、医師として活躍できる領域は非常に幅広く、それぞれが大切な役割を担っています。皆さんには、自分がやりたい道を多様に進んでほしいと思っていますし、私たちがサポートします！

医師を目指すあなたと、いつの日か、長崎大学病院で一緒に働く日を楽しみに待っています！

先進的腹腔鏡手術



先進的内視鏡治療



先進医療

スペシャリスト

研究者

さまざまな最先端研究を行っています。



開業

長崎県内外で多くの医師が地域医療に貢献しています。

行政

厚生労働省の医系技官、県の保健所などで活躍しています。

全国からたくさんの研修医が集まっています。

専門研修（3～5年）

初期研修（2年間）



長崎大学医学部医学科の推薦入試には、将来長崎県の地域医療を支えていく人材を育てる地域医療枠・地域医療特別枠や熱帯医学、国際保健医療、基礎研究、法医学の中から自分でプログラムを選んで学ぶことのできるグローバルヘルス研究医枠といった特徴的な制度があり、すでに将来を見据えている学生にとっては素晴らしいシステムであると授業に加えて医師を目指す学生に入学を促しました。国際保健医療枠では、学生の終わりに原爆後障害医療

現在私は5年生であり、臨床実習生として勉強に追われつつも充実した生活を送っています。国際保健医療枠で学んだことは今の実習にも生きていると強く感じます。皆さんもグローバルな医師を目指して長崎大学で共に医学を学びませんか？

(木村)

長崎大学は熱帯医学研究所やBSL-4施設をはじめとした感染症研究拠点を構え、感染症分野において臨床、基礎、公衆衛生の第一線の先生方と密に関われる全国随一の環境です。

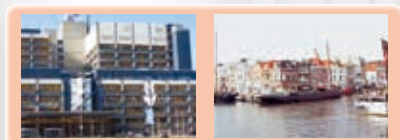
大学生活では様々なイベントがありますが、長崎大学は自由度も高く、自分のやる気次第でチャンスを与えてくれる先生方が大勢おられます。長崎では理想とする医師像・研究者像に必ず近づけるでしょう。皆さんの入学を心よりお待ちしております。

Campus Voice

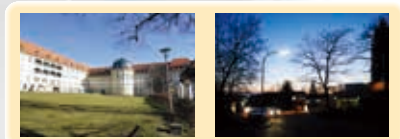
長崎大学医学部医学科の入試には、長崎県内の離島や地域医療に特化した地域医療枠・地域医療特別枠や、入学後に熱帯医学研究医・国際保健医療・一般研究・法医学からプログラムを選んで専門的に学ぶグローバルヘルス研究医枠といった特徴的な推薦入試制度があります。

また、現地での活動中は、学年の境もなく、縦のつながりは強まり、活動を終えるまでに、同じ志をもった仲間を作ることができます。

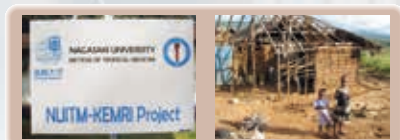
私は一般研究医卒で入学し、1年次の後期より骨学実習等を通して人体構造系に興味を持ち、肉眼解剖学教室で骨粗鬆症のメカニズムについての研究を始めました。研究室の先生やスタッフの方に標本の作製や統計の取り方などから教えて頂き、授業とはまた違うアカデミックな側面から学ぶことができてきました。4年次からは研究医コースへ進学、卒業後の現在は市中病院で研修医として働きながら、社会人大学院生として続けてきた研究内容での博士号取得を目指しています。臨床実習を通して外科系の手技に惹かれ、今後は耳鼻咽喉科・頭頸部外科医としての第一歩を踏み出そうとしております。



オランダ・ライデン大学と街並み



ドイツ・ビュルツブルク大学と街並み



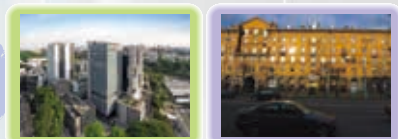
ケニア・熱研拠点



ベトナム・熱研拠点



モンタナ大学



シンガポール国立大学

ベラルーシ・原研拠点



韓国・ハーリム大学校

韓国・プサン大学校

■バス

「長崎空港5番のりば」
「長崎空港4番のりば」

(長崎新地・長崎駅前経由)
(昭和町・浦上経由)

「長崎駅前」下車
「浦上駅前」下車

JR長崎駅から
JR浦上駅から

■ 路面電車

路面電車 (赤迫行き) → 「長崎駅前」 → 「原爆資料館」下車 徒歩 → 長崎大学医学部

■ 長崎バス

長崎バス (8番系統下大橋行き
(医学部経由))
「長崎駅前」 → 「医学部前」下車 → 長崎大学医学部

■ 路面電車

路面電車
「浦上駅前」→(赤迫行き)→「原爆資料館」下車→徒歩→長崎大学医学部

■ 長崎バス、長崎県営バス

「浦上駅前」→「浜口町」下車→徒歩→長崎大学医学部



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

●医学部医学科についてのお問い合わせは

長崎大学医学部医学科 学務課

〒852-8523 長崎市坂本1-12-4

TEL 095-819-7010

<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/>